

# 院内処方と院外処方について

## 院内処方のメリット



- ・クリニックから薬局へわざわざ移動しなくて済む。
- ・院内処方の処方せん料は院外処方より安い。
- ・薬の確認がクリニック内で行える。

## 院外処方のメリット



- ・自分の都合に合わせて薬局を選ぶことができる。
- ・飲み合わせなど薬についての詳しい説明が受けられる。
- ・複数の医療機関の処方せんを同時に扱ってもらえる。
- ・同じ効用の薬でもたくさんの種類の中から選ぶことができる。

## 【注意点】

同一日に同じ患者さんに対して、一部の薬剤を院内で、他の薬剤を処方せんで投薬することは原則として認められていない。



## 先発医薬品とジェネリック医薬品について

先発医薬品より低価格で買えるのがジェネリック医薬品です。

ジェネリック医薬品は特許の切れた先発医薬品と同じ有効成分を使用しており、効果・安全性が同等な薬とされています。ところが、昨今の報道にあったようにジェネリック医薬品はその品質に問題があったものや供給が不安定になっているものが一部あります。

また、ジェネリック医薬品の中には、原薬・添加物・製法までが先発医薬品と同一のジェネリック医薬品もあります。これを**オーソライズド・ジェネリック医薬品（AG）**といいます。

当院の院内薬局では薬の信頼性と供給の安定性を優先して主に「**先発医薬品**」および「**オーソライズド・ジェネリック(AG)医薬品**」を処方しております。

なお、ジェネリック医薬品をご希望の方には院外処方せんを発行することができます。その場合はご希望の院外薬局で受け取ることが可能ですので遠慮なく申し付けください。



2022年1月 こうの内科クリニック